



杉並区立小中一貫教育校

杉並和泉学園

新泉和泉小学校 / 和泉中学校

令和2年8月22日
学園だより No. 60
学園長 田中 稔

全ての学年で「学びに向かう力・人間性」を育てる

学園長 田中 稔

今日から2学期が始まり、児童・生徒の元気な声が杉並和泉学園に戻ってきました。例年であれば、自然体験や部活動により真っ黒に日焼けした子供たちの姿に溢れている学園も、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で夏休み期間が短かったからか、少し違う風景となっています。言うまでもなく、自然と触れ合う体験や部活動、旅行等により見識等を深めることは、子供たちの人格形成にとっても大切なことです。少しでも早く、新型コロナウイルス感染を気にしなくても良い社会状況となることを願っています。

さて、小学部では本年度、学校で行う教育の基準となる新しい学習指導要領の完全実施となっています。そのことにより、小学部5・6年生で教科書を用いた英語科が始まったり、6年生でのプログラミング教育を実施したりすることになりました。それ以外にも、学力等についての考えが整理されたことから、通知表の評価欄がそれまでの4つの観点であったものが、3つの観点となっています。(中学部は次年度から実施となります。)

今回の学習指導要領では、子供たちが幸福な人生の創り手になるために必要な資質能力を「生きて働く『知識・技能』」「未知な状況にも対応できる『思考力・判断力・表現力等』」「学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性等』」と整理しています。そして、この3つの資質能力をバランス良く子供たちにはぐくまなければならないことが同時に示されました。上記の評価の観点もこのことを受けて3観点となりました。

しかし、子供たちも大人たちもその獲得・達成状況等を数値(得点)で表しやすい「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力等」については、少しでも高めようと努力するものの、数値で表しにくい、学びに向かう力・人間性等(たとえば、目標に向かって頑張る力、主体的に学習に取り組む態度、物事を最後までやり抜く力、自律心、自己肯定感、他者への思いやり、協働性、社会貢献意識 等)については、若干、見落としてしまう傾向にあるのではないかと思います。学園の教育目標にある「Communicate」「Challenge」「Create」も学びに向かう力・人間性であることに間違いありません。

世界最大のシンクタンクと呼ばれているOECD(経済協力開発機構)の調査では、これら数値で表すことの難しい力である学びに向かう力・人間性等こそがこれからの時代に最も必要な力であると提言されています。また、当たり前のことではありますが、『学びに向かう力・人間性等』が育っていなければ、『知識・技能』『思考力・判断力・表現力等』をしっかりと高めることはできません。そして、この『学びに向かう力・人間性等』の大部分は、人と人が豊かにかかわり合う学習、失敗や挫折等を乗り越えていく経験、ボランティア活動などの人の役に立つ活動等の中で少しずつ育成されていくものです。

今、新型コロナウイルス感染症の影響により、人と人がかかわり合う運動会、学芸音楽会、小中学部の交流や縦割り班活動、宿泊行事などを縮小したりしなければならない状況下にあります。子供の活躍の場である連合行事や大会、コンクール等の取り止めも続いています。これらの学習活動や行事等は、成長段階や学年等に応じて意図的に計画されているもので、この機会を逃してしまうのは、非常に残念なことでもあります。

だからこそ、このコロナ禍による毎日の学習活動や縮小された行事等の中で『学びに向かう力・人間性等』を如何に育んでいくのか、学園として真剣に考えなければなりません。

最後に、このような状況の中、今後の学習活動・行事等の実施において、保護者・地域の皆様のお力や知恵等をお借りしなければならない事、多々あると存じます。今学期もご協力、ご支援等、よろしくお願いいたします。

小学部

- 生活目標●
けじめある生活をしよう
- 安全目標●
地震の10のポイントを知ろう

中学部

- 生活目標●
規則正しい生活をしよう
- 安全目標●
安全に新しい学期を過ごそう

小中共通

- 保健目標●
けがに気を付けよう
- 給食目標●
正しく配膳をしよう



1学期中の 各学年の様子



小学部
2年生



1年生と学校探検を行いました。2年生にとって初めての下級生との活動でした。上級生として1年生を案内する表情には、緊張と誇らしさの両方が見られ、少しずつ2年生の自覚が芽え始めた一人一人です。

小学部
4年生



7月31日、学年レクリエーション活動をし、「ふやしおに」や「ドッジボール」を行いました。みんなで走り回ったり、他のクラスと合同のチームでゲームをしたりしました。友達と楽しい時間を過ごすことができ、笑顔で遊ぶ姿が見られました。

小学部
1年生



7月から英語の授業が始まりました。1回目は、学期に1回のALTの先生との授業でした。毎回の英語の学習では、体を動かしながら、英語で歌ったり話したりしています。楽しみながら英語にふれている1年生です。

小学部
3年生



「総合的な学習の時間」の学習で、地域探検に出かけ「安全な場所」「危険な場所」を探しました。自分の目で多くの物を見て、発見したことを相手に伝えようとする姿は、どの児童も生き生きとしていました。

友達の いいふんい気で 自信わく	(樋口 れいな)
キャッチバレー みんなでがんばり 大勝利	(藤田 芽)
楽しいな 理科の実験 びっくりだ	(角田 晃大)
人間は 仲間がいるから 育つのさ	(高丸 凜子)

分散登校から始まった1学期でしたが、友達との中を深め、楽しく学ぶことができました。2学期も楽しみです。

小学部
5年生



小学部
6年生



2学期は、スポーツフェスティバルや学習発表会が控えています。総合的な学習の時間では、商品開発プロジェクトの活動が本格的にスタートします。子供たちが主体となり活動を進められるよう指導していきます。

小学部
仲よし学級



道徳の学習で、開校5周年を迎えた杉並和泉学園へのお祝いの意味も込めて、学園の好きなところを考えました。

「給食がおいしいところ」や「友達がやさしいところ」など子供たちの学園への思いがたくさん出ました。一人一人カードに書き、一枚の模造紙にまとめ、廊下に掲示しました。掲示物の飾りつけは6年生を中心にやりました。

中学部
7年生



期末考査後に、各クラスで班長を選出して、放課後に学級委員が司会・進行をし、班長会議を行いました。1・2組の班長がみんなでクラスのために話し合いを重ねて自主的に会議を進められた点が素晴らしかったです。

中学部
8年生



1組は落ち着いて生活しています。授業では静かに話に聞き入っており、上級生らしさが見られます。

2組は学年が上がり、クラスに落ち着きが出てきました。優しい子が多く、学校生活が楽しいと感じる子が多くなりました。

中学部
9年生



中学部3階OSに高校のパンフレットが置かれ、少しずつ受験生としての意識をもち始めました。いつもとは違う生活でも楽しみ、進路学習や受験勉強を進める、新型コロナウイルスに負けず頑張っています。

中学部
5組



「総合的な学習の時間」の学習で長野県について調べました。それぞれが調べたことをもとにクイズやその解説を考えました。それぞれに出題方法を工夫して、楽しい発表になり、大変盛り上がりました。

8・9月の行事予定



日 曜	予 定		日 曜	予 定	
	小 学 部	中 学 部		小 学 部	中 学 部
8/22 土	始業式 3時間授業		11 金	安全指導 腎臓(尿)検査1次追加	
23 日			12 土	土曜手習い(中間考査前終日教室)	
24 月	小学朝会 給食始	学年朝会	13 日		
25 火	安全指導		14 月	小学朝会 理科出前授業(6年)	学年朝会
26 水	5時間授業(3～6年)	水曜手習い	15 火		
27 木			16 水	短縮時程 5時間授業(3～6年)	水曜手習い
28 金		安全指導	17 木		中間考査一週間前部活動なし
29 土	短縮時程 3時間授業	5時間授業 専門委員会	18 金		
30 日			19 土	スポーツフェスティバル 午前授業	5時間授業 専門委員会
31 月	小学朝会 クラブ スポーツフェスティバル時程開始	中学朝会 図書館利用開始	20 日		
9/1 火	保護者会・4時間授業(5・6年) 身体計測(3・4年)		21 月	敬老の日	
2 水	5時間授業(3～6年) 身体計測(5・6年)	安全指導 水曜手習い	22 火	秋分の日	
3 木	保護者会・4時間授業(仲・3・4年) 身体計測(仲・1・2年) 放課後学習(3・4年以外)		23 水	5時間授業(3～6年) スポーツフェスティバル予備日	水曜手習い
4 金	保護者会・4時間授業(1・2年)		24 木	短縮時程 放課後学習	特別時程 中間考査 校外学習(5組)
5 土	土曜手習い		25 金	短縮時程	特別時程 中間考査 6時間授業
6 日			26 土		
7 月	小学朝会 委員会 教育実習始	生徒朝会	27 日		
8 火			28 月	小学朝会 クラブ	中学朝会 教育実習始
9 水	5時間授業(3～6年)	水曜手習い	29 火	腎臓(尿)検査2次	避難訓練
10 木	腎臓(尿)検査1次 放課後学習		30 水	5時間授業(3～6年) 避難訓練 腎臓(尿)検査2次追加	体育競技会予行 水曜手習い

学校支援本部コーナー

～和泉手習い塾編～

学園の再開に伴い、学校支援本部も少しずつ活動が本来の形に戻り始めてきました。いつもと違う新年度に対応している先生方の頑張りをお見かけするにつけ、昨年度まで以上に今年度からも学園の応援をしていきたいと改めて思いました。

さて、いよいよ和泉手習い塾も2学期から再開します。3学期と合わせて、年間16日間・57時間の予定を組みました。成長著しい児童・生徒の皆さんに「普段の学園生活の中で学習習慣を身につけてもらいたい」「自分の目標を持ち自分の学習法を獲得して欲しい」。そんな想いで、この『和泉手習い塾』は始まりました。自学自習のきっかけを作り、自立できる学習の手助けになればと考えています。

また、検定事業やタグラグビーも再スタートして、様々な授業サポート・放課後サポートなど多くの地域の大人達が再び学園に集まってきました。これからも、学校支援本部をどうぞよろしくお願いいたします。



村山 道彦

(<https://shinsen-izumi.sakura.ne.jp/>
お問い合わせ: info@shinsen-izumi.sakura.ne.jp)



学校運営協議会コーナー

7月14日(火)に学校再開から2回目の学校運営協議会が開催されました。今回の内容は、教育課程の変更と「気づく喜び共感カフェ」についてでした。

まだまだ予断の許されない状況のなか、教育課程の見直しが行われ様々な行事の変更がありました。残念ながら中止を余儀なくされる行事もあり例年通りにはいかない状況ですが、児童・生徒の安全を第一に考えたうえで、体験や発表の機会を作ろうと先生方が必死に考えてくださっていることが窺えます。

今は子供たちの為にいつも以上に学園と地域、保護者が協力し合う時だと思っています。この状況に対して十人十色様々な意見や想いがあり、全ての人にとっての正解というのは難しいことだと思います。正解を導き出すことは難しくても、より良い方向に向かえるよう今年度も「気づく喜び共感カフェ」として意見交換の場を設ける予定です。昨年のような大勢の人が一つの場所に集まることは避け、小規模な組織ごとに気軽にお話できる機会を11月以降に設けたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

学校運営協議会は傍聴可能ですので、ご希望の方はお知らせください。次回の学校運営協議会は、8月24日(月)16:30～学園長室となります。



増田 結子